

第3章 ごみの排出量の将来推計

本章では、特に新たな排出抑制・再生利用の促進・循環型社会形成に向けた改善を行わない場合のごみの排出量の見込みを示すこととします。ごみの排出量及び処理量の将来推計に当たっては、過去の1人1日当たりの排出量（グラム/人・日）の実績からトレンド法を用いて算出することとします。

第1節 家庭系ごみの排出量の将来推計

1 家庭系ごみ

家庭系ごみ排出量の将来推計値は次のとおりです。家庭系ごみは減少傾向にあり、今後も減少していくものと予想され、令和12（2030）年度の推計値は1人1日当たり482グラム（令和6（2024）年度から43グラムの減）となります。

表 2-1 家庭系ごみ排出量の推計値

	実績値		推計値
	令和元（2019）年度	令和6（2024）年度	令和12（2030）年度
家庭系ごみ	587g/人・日	525g/人・日	482g/人・日

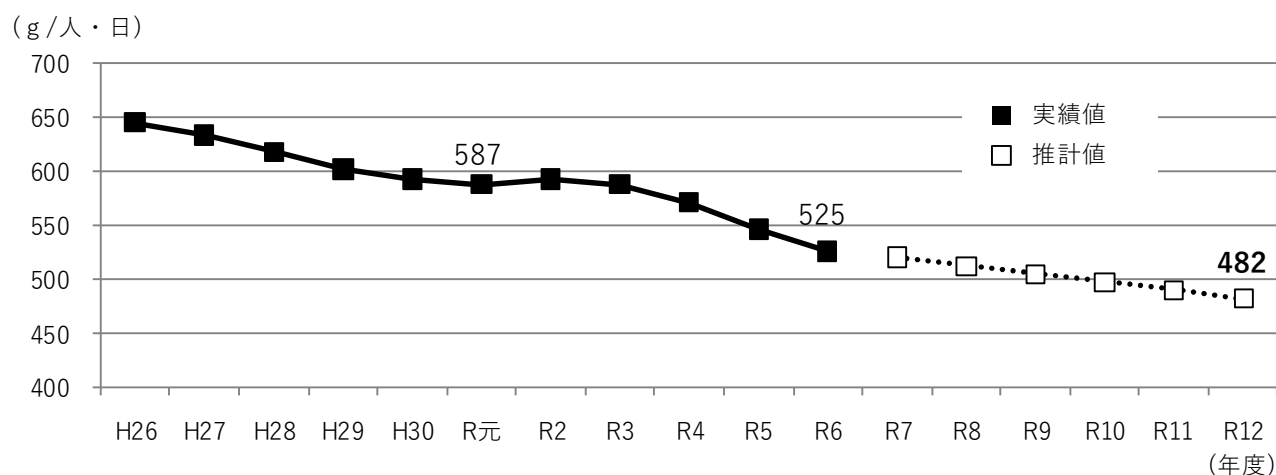


図 2-2 家庭系ごみ排出量の将来推計

2 家庭系ごみ（資源物を除く）

家庭系ごみから資源物を除いた排出量については、国の目標値（令和 12（2030）年度約 478 グラム/1 人 1 日当たり）が定められています。令和 12（2030）年度の推計値は 1 人 1 日当たり 436 グラムとなり、令和 6（2024）年度より 40 グラム減少する見込みとなります。

表 2-3 家庭系ごみ（資源物を除く）の推計値

	実績値		推計値
	令和元（2019）年度	令和 6（2024）年度	令和 12（2030）年度
家庭系ごみ （資源物を除く）	525g/人・日	476g/人・日	436g/人・日

(g/人・日)

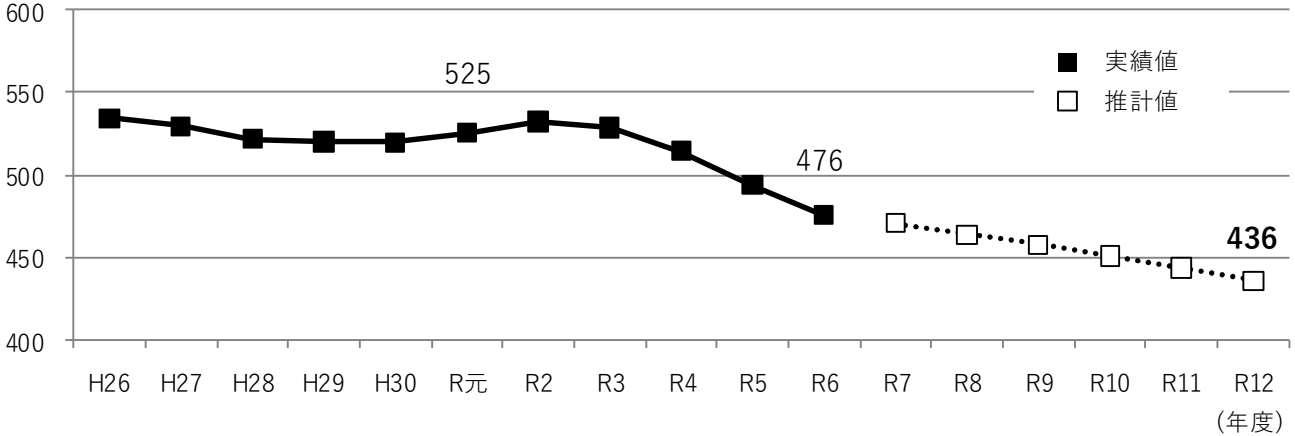


図 2-4 家庭系ごみ（資源物を除く）排出量の将来推計

第2節 事業系ごみの排出量の将来推計

事業系ごみ排出量の将来推計値は次のとおりで、横ばいに近い減少の傾向が続くと考えられます。令和12（2030）年度の推計値は1人1日当たり297グラムとなり、令和6（2024）年度より15グラム減少となります。

表 2-5 事業系ごみの推計値

	実績値		推計値
	令和元（2019）年度	令和6（2024）年度	令和12（2030）年度
事業系ごみ	344g/人・日	312g/人・日	297g/人・日

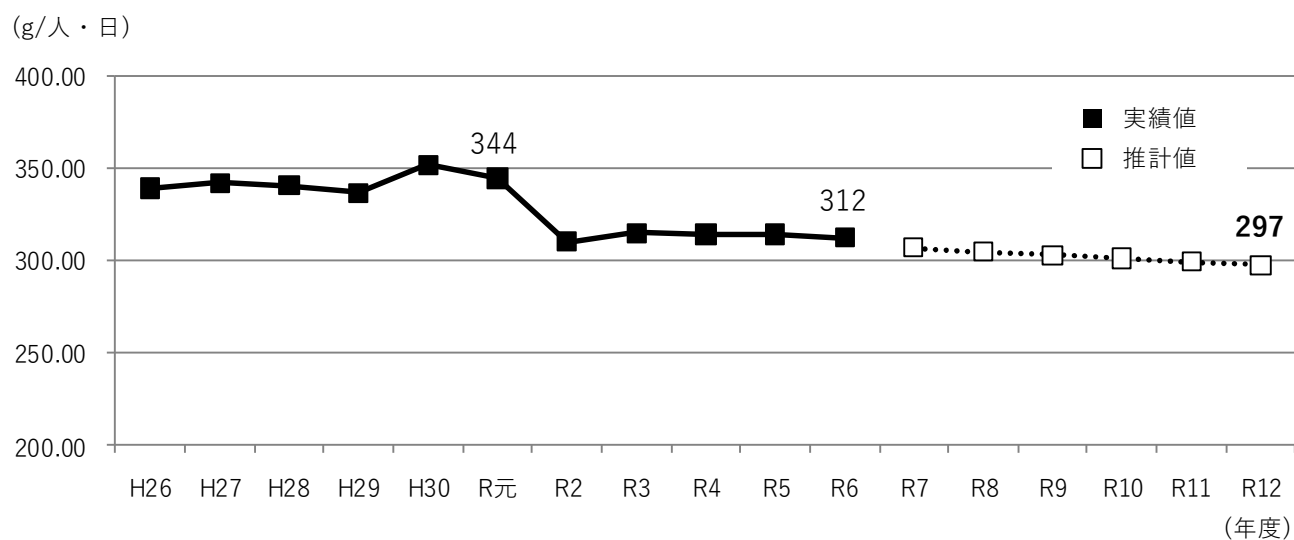


図 2-6 事業系ごみ排出量の将来推計

第3節 ごみ排出量の将来推計

家庭系ごみ、事業系ごみの推計値をまとめると、1人1日当たりのごみ排出量の将来推計値は次のとおりとなります。

表 2-7 ごみ総排出量の推計値

		実績値		推計値
		令和元（2019）年度	令和 6（2024）年度	令和 12（2030）年度
1人1日当たりのごみ排出量		938g/人・日	837g/人・日	779g/人・日
内 訳	家庭系ごみ	587g/人・日 (525g/人・日) ²	525g/人・日 (476g/人・日)	482g/人・日 (436g/人・日)
	集団回収	7g/人・日	－g/人・日	－g/人・日
	事業系ごみ	344g/人・日	312g/人・日	297g/人・日

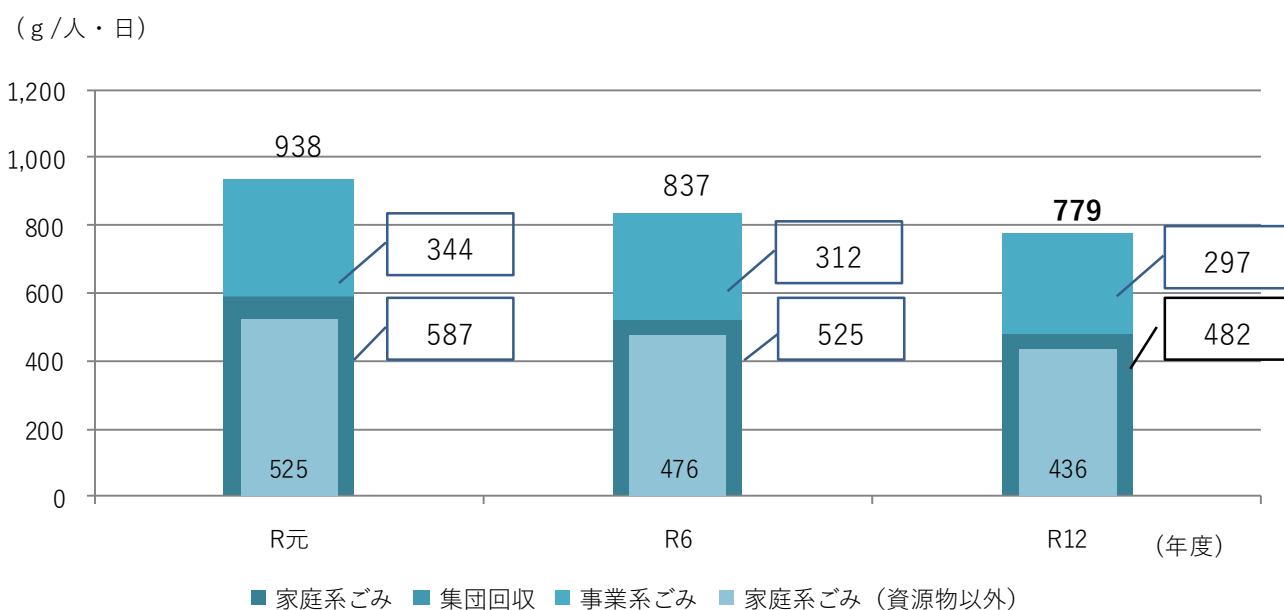


図 2-8 1人1日当たりのごみ排出量の将来推計

2 カッコ内は、家庭系ごみのうち、資源物を除いた排出量